

# GIGAスクール構想のもとでの 高等学校公民科の指導について

# GIGAスクール構想のもとでの高等学校公民科の指導において ICTを活用する際のポイント

## (1) 学び方や調べ方を大切に、生徒の主体的な学習を一層重視

高等学校学習指導要領（平成30年告示）第2章第3節公民  
第3款の2 内容の取扱いについての配慮事項(4)

情報の収集、処理や発表などに当たっては、学校図書館や地域の公共施設などを活用するとともに、**コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を積極的に活用し、指導に生かすことで、生徒が主体的に学習に取り組めるようにすること。**その際、課題の追究や解決の見通しをもって生徒が主体的に情報手段を活用できるようにするとともに、**情報モラルの指導にも配慮**すること。

**生徒が、自ら問題意識をもち、問題解決の見通しを立て、必要な情報を収集し、情報を読み取り、情報を分類・整理してまとめたりする学習活動の構成が大切である。**

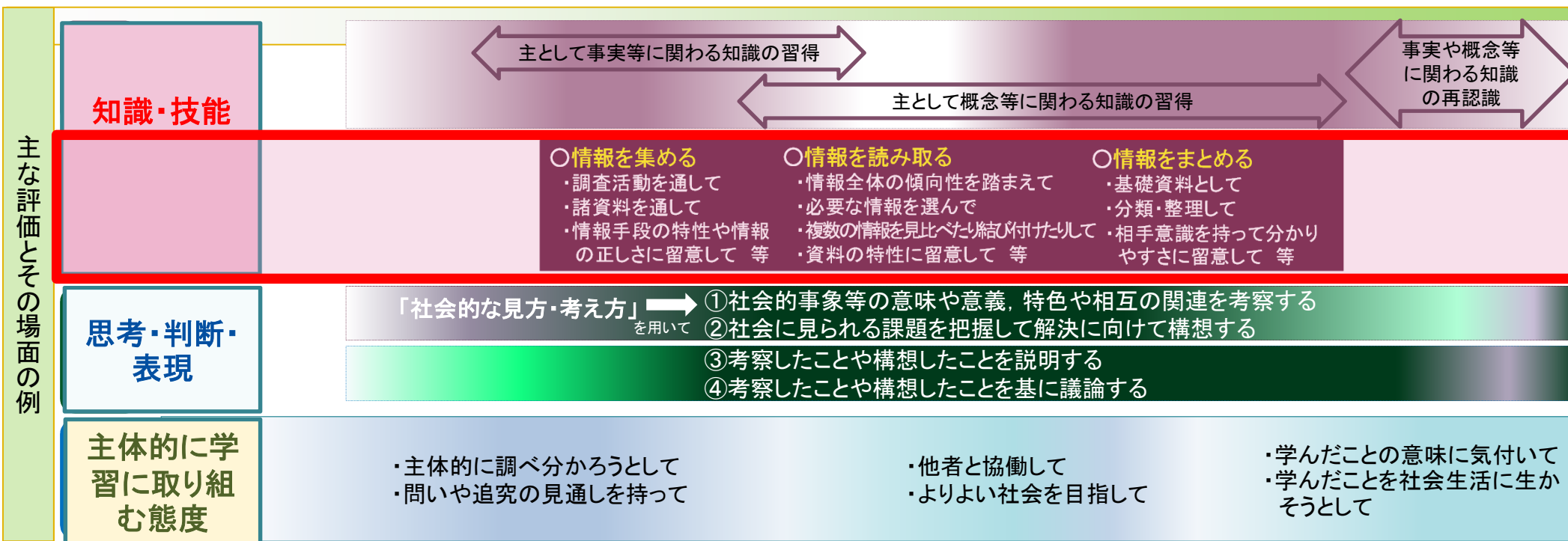
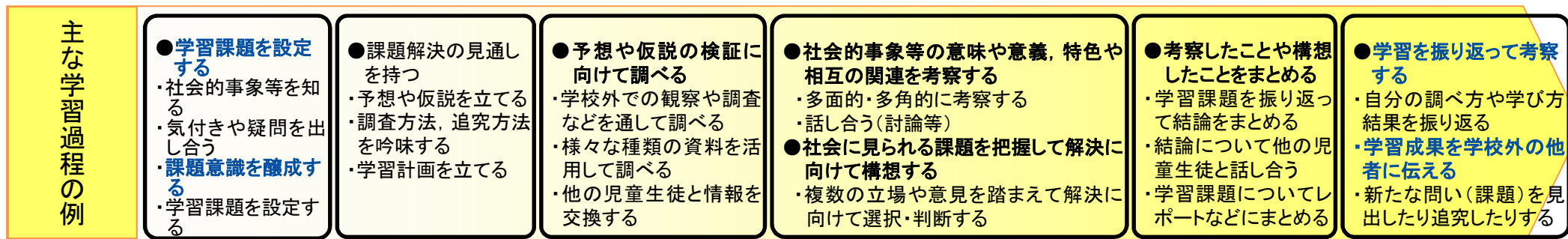
### ○環境の整備

- ・ 主体的・対話的で深い学びの実現につながるよう、生徒が学習において日常的にICTを活用できる情報通信機器の使用環境の整備

### ○指導上の留意点

- ・ ICTを活用した学習場面を想定し、単元を通じた授業デザインの必要
- ・ 情報モラルの指導への配慮
- ・ 課題の追究や解決の見通しをもって生徒が主体的に情報手段を活用できるようにする指導

# 社会科，地理歴史科，公民科における学習過程のイメージ



■ **学習過程全体について留意すべき点** ■

- ・上記の学習過程及び評価の場面は例示であり，上例に限定されるものではないこと
- ・主体的・対話的で深い学びを意図した，単元の構成の工夫等が望まれること
- ・社会的事象等については，児童生徒の考えが深まるよう様々な見解を提示することなどが重要であること。その際，特定の事柄を強調しすぎたり，一面的な見解を十分な配慮なく取り上げたりするなど偏った取扱いにより，児童生徒が多面的・多角的に考察し，事実を客観的に捉え，公正に判断することを妨げるようなことのないよう留意すること。また，客観的かつ公正な資料に基づいて指導するよう留意すること

# GIGAスクール構想のもとでの高等学校公民科の指導において ICTを活用する際のポイント

## (2) 「社会的事象等について調べまとめる技能」の育成

高等学校学習指導要領（平成30年告示）第2章第3節公民  
第3款の2 内容の取扱いについての配慮事項(2)

諸資料から、**社会的事象等に関する様々な情報を効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付ける学習活動を重視**するとともに、**具体的な体験を伴う学習の充実**を図るようにすること。その際、現代の諸課題を捉え、多面的・多角的に考察、構想するに当たっては、関連する各種の統計、年鑑、白書、新聞、読み物、地図その他の資料の出典などを確認し、その信頼性を踏まえつつ適切に活用したり、考察、構想の過程と結果を整理し報告書にまとめ、発表したりするなどの活動を取り入れるようにすること。

- 「**社会的事象等について調べまとめる技能**」を小学校社会科、中学校社会科、高等学校地理歴史科及び公民科の学習指導要領解説に共通して掲載
- 「社会的事象等について調べまとめる技能」を生徒に身に付けさせるため、**ICT端末を活用した学習活動のより一層の充実が求められる**

# 社会的事象等について調べまとめる技能

## 情報を収集する技能

等に段  
関を考  
するえ  
情て報  
課を題  
を収解  
集集決  
するに  
必要能  
な社会  
的事象

### 【1】調査活動を通して

#### ○野外調査活動

- ・調査の観点(数, 量, 配置等)に基づいて, 現地の様子や実物を観察し情報を集める
- ・景観のスケッチや写真撮影等を通して観察し, 情報を集める
- ・地図を現地に持って行き, 現地との対応関係を観察し, 情報を集める

#### ○社会調査活動

- ・行政機関や事業者, 地域住民等を対象に聞き取り調査, アンケート調査などを行い, 情報を集める

### 【2】諸資料を通して

#### ○資料の種類

- ・地図(様々な種類の地図)や地球儀から, 位置関係や形状, 分布, 面積, 記載内容などの情報を集める
- ・年表から, 出来事やその時期, 推移などの情報を集める
- ・統計(表やグラフ)から傾向や変化などの情報を集める
- ・新聞, 図書や文書, 音声, 画像(動画, 静止画), 現物資料などから様々な情報を集める

#### ○その他

- ・模擬体験などの体験活動を通して人々の仕事などに関する情報を集める
- ・博物館や郷土資料館等の施設, 学校図書館や公共図書館, コンピュータなどを活用して映像, 読み物や紀行文, 旅行経験者の体験記など様々な情報を集める
- ・**コンピュータや情報通信ネットワークなどを活用して, 目的に応じて様々な情報を集める**

### 【3】情報手段の特性や情報の正しさに留意して

- ・資料の表題, 出典, 年代, 作成者などを確認し, その信頼性を踏まえつつ情報を集める
- ・情報手段の特性に留意して情報を集める
- ・情報発信者の意図, 発信過程などに留意して情報を集める

## 情報を読み取る技能

え収方  
集した  
沿った  
情て報  
読をみ  
社会取  
的能見  
な方  
考

### 【1】情報全体の傾向性を踏まえて

- ・位置や分布, 広がり, 形状などの全体的な傾向を読み取る
- ・量やその変化, 区分や移動などの全体的な傾向を読み取る
- ・博物館や郷土資料館等の展示品目の配列から, 展示テーマの趣旨を読み取る

### 【2】必要な情報を選んで

#### ○事実を正確に読み取る

- ・形状, 色, 数, 種類, 大きさ, 名称などに関する情報を読み取る
- ・方位, 記号, 高さ, 区分などを読み取る(地図)
- ・年号や時期, 前後関係などを読み取る(年表)

#### ○有用な情報を選んで読み取る

- ・学習上の課題の解決につながる情報を読み取る
- ・諸情報の中から, 目的に応じた情報を選別して読み取る

#### ○信頼できる情報について読み取る

### 【3】複数の情報を見比べたり結び付けたりして

- ・異なる情報を見比べ(時期や範囲の異なる地域の様子など)たり, 結び付け(地形条件と土地利用の様子など)たりして読み取る
- ・同一の事象に関する異種の資料(グラフと文章など)の情報を見比べたり結び付けたりして読み取る
- ・同種の資料における異なる表現(複数の地図, 複数のグラフ, 複数の新聞など)を見比べたり結び付けたりして読み取る

### 【4】資料の特性に留意して

- ・地図の主題や示された情報の種類を踏まえて読み取る
- ・歴史資料の作成目的, 作成時期, 作成者を踏まえて読み取る
- ・統計等の単位や比率を踏まえて読み取る

## 情報をまとめる技能

に読  
向み  
け取  
った  
まと  
め情  
報を  
技能  
課題  
解決

### 【1】基礎資料として

- ・聞き取って自分のメモにまとめる
- ・地図上にドットでまとめる
- ・**数値情報をグラフに転換する(雨温図など)**

### 【2】分類・整理して

- ・項目やカテゴリーなどに整理してまとめる
- ・順序や因果関係などで整理して年表にまとめる
- ・位置や方位, 範囲などで整理して白地図上にまとめる
- ・相互関係を整理して図(イメージマップやフローチャートなど)にまとめる
- ・**情報機器を用いて, デジタル化した情報を統合したり, 編集したりしてまとめる**

### 【3】情報を受け手に向けた分かりやすさに留意して

- ・効果的な形式でまとめる
- ・主題に沿ってまとめる
- ・レイアウトを工夫してまとめる
- ・表などの数値で示された情報を地図等に変換する

# 高等学校・現代社会・「政治参加に向けて」①

## 育成を目指す資質・能力

基本的人権の保障，国民主権，平和主義と我が国の安全について理解を深めさせ，天皇の地位と役割，議会制民主主義と権力分立など日本国憲法に定める政治の在り方について国民生活とのかかわりから認識を深めるとともに，民主政治における個人と国家，地方公共団体について考察させ，政治参加の重要性と民主社会において自ら生きる倫理について自覚を深める。

## ICT活用のポイント

ICT端末の活用により，地域住民の考えや意見などを容易に知ることができる。例えば，アンケート機能を用いて現実社会のニーズを踏まえた解決策を考える学習活動や，考えた解決策に対する評価をもらい，更によりよい解決策など考える学習活動などが考えられる。

課題把握

課題追究

情報収集

考察・構想

課題解決

## 事例の概要

グループで模擬的な地域政党をつくり，学校所在地の自治体の議会選挙に向けた選挙公約を作成する。

○「**収集した情報をもとに多面的・多角的に考察する場面**」において

公約を作成するに当たり，地域住民のニーズを把握するためのアンケートを作成する。その際，地域の実情を踏まえたアンケートとするために，グループで分担して地域の課題に関する情報を収集する。

アンケート結果を踏まえ，「社会的な見方・考え方」を働かせて，アンケート結果等を多面的・多角的に考察し，公約を作成する。

○「**発信した情報に対する反応をもとに構想する場面**」において

作成した公約を再びアンケート機能を活用して，地域住民の方に評価をもらう。評価結果を踏まえ，公約の再修正を行う。

# 高等学校・現代社会・「政治参加に向けて」②

## 【収集した情報をもとに多面的・多角的に考察する場面】

◇◇市をよりよくするためのアンケート

現代社会の授業で◇◇市の市議会議員選挙に向けての選挙公約をつくるための予備調査です。

次へ

◇◇市をよりよくするためのアンケート

◇◇市の課題の課題について

以下の課題のうち、◇◇市の課題の優先度についてお答えください。

	どちらかとい 優先度は高い	どちらともい え優先度は 高い	どちらともい えない	どちらかとい え優先度は低 い	優先度は低い
農林水産業振 興	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
製造業振興	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
サービス業振 興	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
災害対策	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
人口減少対策	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
高齢者対策	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

### 学習課題：公約作成のための住民アンケートを実施しよう

模擬的な地域政党の公約を作成する際、地域住民のニーズを把握するための調査を、アンケート機能を用いて実施する。自治体のWebページや広報誌などで呼びかける。

集計したアンケート結果を踏まえ、自分たちが理想とする自治体像や公約の妥当性、効果、実現可能性などの観点から考察し公約を作成する。

### ICT活用のメリット

- アンケート機能を用いることで、容易に多くの回答を得ることができるとともに、自動集計できるので、分析に時間を充てることができる。

## 【自分たちの考えを発信し、評価してもらう場面】

疑似政党☆☆党選挙公約

現代社会の授業で◇◇市の市議会議員選挙に向けての選挙公約を作りました。よりよい公約にするために、みなさんの感想、ご意見などを聞かせてください！

次へ

公約1「産業振興策として、地域の中小企業の……」について

【この公約を掲げた理由】  
◇◇市の課題として、……  
そこで、……。

◇◇市における公約1で掲げた政策の優先度はどの程度でしょうか？

- 優先度の高い政策である
- どちらかといえば優先度の高い政策である
- どちらともいえない
- どちらかといえば優先度は低い政策である
- 優先度は低い政策である
- その他: \_\_\_\_\_

### 学習課題：決定した公約をさらによりよいものにしていこう

地域住民からの評価結果を踏まえ、自分たちが理想とする自治体像の観点や選挙に向けての戦略的な観点から評価結果を考察し、最終的な公約に反映させる。

### ICT活用のメリット

- 自分たちが作成した公約を、アンケート機能を活用して外部の方に評価してもらうことにより、新たな視点から事象について多面的・多角的に考えることができる。

【活用したソフトや機能】 アンケート機能